



学びの庭

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、
児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

創立 明治5年
1872年

令和元年（2019年）5月7日

発行責任者 校長 岩下清彦

上級生から下級生へと

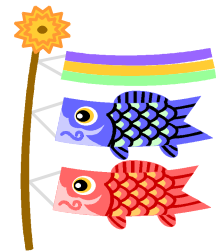
校庭の木々や街路樹が目には鮮やかな新緑に包まれ、風薫る季節となりました。若々しい葉は、ぐんぐん成長している玉諸小の子どもたちのようです。

さて、新年度が始まって1か月が過ぎ、学習や当番活動などの学校生活も軌道に乗ってきました。新しい友達と校庭で仲よく遊ぶ姿も見られます。最初は緊張していた1年



生もすっかり学校生活に慣れてきたようです。教室からは元気な返事や明るい歌声が聞こえてきます。

朝の集団登校での、班長さんをはじめ上級生が1年生を気遣いながら歩いてくる姿には感心させられます。下級生の子どもたちにとって、こうした優しいお兄さんやお姉さんに出会えたことは、とても幸せなことです。そして、今は下級生の子どもたちも、大きくなったら頼りになる上級生になってくれることと思います。上級生から下級生へと受け継がれていく玉諸小のよさを大切にしていきたいと思います。



あいさつの輪を広げよう

人と人がコミュニケーションをとる上で最も大切なのが『あいさつ』です。目と目を合わせてあいさつをすることで、お互いの存在を認め合うことができます。朝の元気な「おはよう」「おはようございます」では、今日も一日、頑張ろうの励ましが、「ありがとう」には、相手への気遣いや感謝が、「さようなら」には、今日も一日楽しかったね、また明日など、それぞれの『あいさつ』には意味が込められています。

高学年の子どもたちには、あいさつのもつ意味を理解して、自分から進んであいさつができるようになってほしいと考えています。また一方で、低学年の子どもたちには、あいさつの気持ちよさを感じてほしいと考えます。

あいさつの大切さを子どもたちと確認し合い、あいさつあふれる玉諸小を目指して取り組んでいきたいと思えます。子どもたちは、学校・家庭・地域で育っていきます。学校でも家庭でも、そして地域でもあいさつの輪が広がっていくことを願っています。



「おはようございます」正門前の登校風景

全国学力・学習状況調査に 取り組みました

4月18日（木）に、6年生が全国学力・学習状況調査に臨みました。調査には国語と算数があり、これまで別々だった知識に関する問題と活用に関する問題が、今年度はまとめて問われる形式になり、活用力がより重視されるようになりました。また、児童質問紙による調査もありました。普段、実施している單元ごとのテストとは異なり、20ページにも及ぶテストを行うことは、子どもたちにとってなかなか大変なことですが、みんな真剣に問題に向き合っていました。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や、児童生徒の生活状況の実態等を明らかにすることにより、各学校における児童生徒への指導内容の充実や指導方法の改善、日々の生徒指導等に役立てることを目的としています。今後、調査結果を詳細に分析し、よりよい学習指導、生活指導につなげていきたいと考えています。



有意義な家庭訪問に

4月23日から明日8日までの5日間にわたって実施している家庭訪問には、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。

家庭訪問を通じて、保護者の皆様と直接、子どもたちについて話したり、保護者の皆様の思いや考えを直にお聞きしたりすることは、教育活動にとっても役立ちます。今後も、学校と家庭との連携を密にしながら指導にあたっていきたいと考えています。

PTA総会へのご参加を

5月13日（月）に開催予定のPTA総会では、昨年度の活動等の報告、今年度の新役員の承認、活動方針などについて話し合われる予定です。家庭と学校が、相互に理解と協力を図っていく契機にしていきたいと考えています。より多くの皆様のご参加をお願いします。

授業参観へのご参加 ありがとうございました



1年生の国語の授業

4月20日の土曜参観には、多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。今年度初めての授業参観では、進級した学年で一回り成長した子どもたちが、張り切って、また、真剣に学習に取り組む姿をご覧いただけたことと思います。また、学年PTA総会、専門部会では、今年度の活動の見通しをもつことができました。

学校だよりを
カラーでご覧
いただけます。



玉諸小学校 校歌の由来

玉諸小学校 校歌

作詞 向井房恵
作曲 坂口五郎

一 夢の国かとまごうほど
広いがしい玉諸の
柳さくらとつどいたる
学びのにわのゆかしさよ

二 ながめ雪山 遠けれど
朝は朝風 夕日かけ
まもる力もうるわしの
野にはげんげの花ざかり

三 春秋ここにいくめぐり
やしろのゆかりとおとくも
新産業にうち向う
六年をほまれ わが母校

本校の校歌が制定されたのは、昭和39年（1964年）10月7日、今から55年前のことです。校歌には、この地域の自然や歴史を織り込み、子どもたちに明るく元気に育ってほしいという願いが込められています。

玉諸小学校百周年記念誌「玉諸小学白寿史」（昭和48年（1973年）発刊）には、校歌について次のように記されています。

「柳の新緑、開き始めた桜のつぼみ、校舎の周りは見渡す限り一面のレンゲ畑。昭和39年の春、新校舎の屋上へ上られた向井房恵先生はあまりの美しさに『夢の国のようだ。』と感嘆されたという。それから、玉諸神社をはじめ土地の様子をいろいろ調べられ、明るく力強い校歌を作詞して下さった。なお、それ以前には校歌はなかった。」

▶ 校歌作詞者の向井房恵さん（1889-1975）は、北巨摩郡熱見村（現在の北杜市高根町）出身。谷村工商校長、甲府市助役、第1回公選山梨県教育委員長などを歴任。県教育功労者。玉諸小校歌のほか、里垣小、国母小、貢川小、東小、明見小、秋山中、ろう学校などの多くの校歌や山梨青年団歌などを作詞されました。

▶ 校歌作曲者の坂口五郎さん（1901-1975）は、長野県長野市出身。山梨大学教授・名誉教授、帝京短期大学教授などを歴任。県政功績者。玉諸小校歌をはじめ、里垣小、国母小、明見小、谷村第二小、敷島中、双葉中、峡南高校、山梨学院大学などの多くの校歌のほか、山梨県の体育祭りの歌、山梨観光音頭、山梨遊覧小唄など作曲されました。

〒400-0814
山梨県甲府市上阿原町491番地
電話 055-233-2447
FAX 055-233-2451
E-mail: tamamoro-e@kofu-ymn.ed.jp

